

令和 2 年 8 月 31 日現在

令和 2 年度 各部署の取組

(1) 人的支援（令和 2 年 4 月以降の派遣人数）

○ 県職員（派遣期間：R2. 4. 1～R3. 3. 31）

派遣先	業務内容	職種	人数
宮城県	水道施設の災害復旧業務	電気	1 名
	河川・海岸等の災害復旧業務	総合土木	1 名
岩手県	水道施設の災害復旧業務	電気	1 名
福島県	避難者支援業務（災害救助業務、生活再建支援業務）	一般事務	1 名
			計 4 名

○ 警察官

派遣・出向先	業務内容	所属	人数	期間
福島県警察	警察業務	県警本部	2 名	R2. 4. 1～R3. 3. 31

(参考) 市町職員

派遣先		人数	派遣元市町
県	市町村		
宮城県	石巻市	1 名	菰野町
岩手県	陸前高田市	1 名	松阪市
計		2 名	

(2) 被災地への支援・交流

【防災対策部】

- 「東日本大震災等被災地派遣職員活動記録集 2020」を作成し関係機関へ配布（令和 2 年 9 月 8 日配布）
- 県本庁舎及び地域庁舎における東日本大震災応援ポスター展の開催（県民ホール：令和 3 年 3 月 1 日～12 日）
- 東日本大震災十周年追悼式（令和 3 年 3 月 11 日）

【子ども・福祉部】

- 災害義援金の募金箱を県本庁舎に設置

【環境生活部】

- 県立図書館において、東北地方（及び熊本県・大分県）の歴史や文化の紹介、防災に関する情報提供、観光パンフレットの提供などを行う「知る、行く、つながる。東北と熊本・大分」と題したキャンペーンの実施（令和3年2月～3月頃を予定）

【農林水産部】

- G A Pに取り組む三重県農業大学校とアグリカレッジ福島の交流・連携により、農産物の交換販売（7月、8月、11月、12月）を行うとともに人的交流（11月にオンラインでの交流）を実施
- 三重の里ファン倶楽部メールマガジンにおいて、岩手県久慈市のグリーンツーリズムの体験プログラムを紹介（12月実施）

(3) 県内避難者への支援

三重県への避難者数（令和2年8月末現在）

岩手県 86名 宮城県 44名 福島県 129名 茨城県 55名 その他 31名

計 345名（112世帯）

	岩手県	宮城県	福島県	茨城県	その他	合計
桑名市	0名	0名	11名	0名	3名	14名（6世帯）
四日市市	84名	26名	59名	49名	16名	234名（65世帯）
菰野町	0名	0名	1名	0名	0名	1名（1世帯）
鈴鹿市	0名	4名	0名	0名	0名	4名（2世帯）
亀山市	0名	2名	8名	0名	0名	10名（4世帯）
津市	0名	3名	17名	0名	7名	27名（8世帯）
松阪市	0名	2名	6名	0名	0名	8名（4世帯）
多気町	0名	0名	0名	4名	0名	4名（1世帯）
伊勢市	1名	3名	23名	0名	2名	29名（11世帯）
鳥羽市	0名	1名	0名	0名	0名	1名（1世帯）
志摩市	1名	0名	0名	0名	0名	1名（1世帯）
南伊勢町	0名	1名	0名	2名	0名	3名（2世帯）
伊賀市	0名	2名	0名	0名	0名	2名（1世帯）
名張市	0名	0名	1名	0名	1名	2名（2世帯）
尾鷲市	0名	0名	3名	0名	2名	5名（3世帯）
合計	86名	44名	129名	55名	31名	345名（112世帯）

【防災対策部】

- 避難者の総合相談窓口機能
- 県内避難者を対象とした支援窓口や各種情報を県ホームページに掲載
 - ・ 被災地からの被災者受入状況（毎月末現在を翌月初旬に公表）
 - ・ 岩手県からの地域情報紙「いわて復興だより」（第160号～第164号）のリンク
 - ・ 宮城県からの地域情報紙「みやぎ復興定期便」（第66号～第68号）のリンク
 - ・ 宮城県からの地域情報紙「NOWIS.（ナウイズ）」（Vol.47～Vol.51）のリンク
 - ・ 福島県からの避難者向け地域情報紙「ふくしまの今が分かる新聞」（第79号～第80号）のリンク
 - ・ 避難者の方の新型コロナウイルス感染症に係る特別定額給付金に関する問い合わせについてのリンク
- 被災県、ボランティア団体等からのお知らせを、市町を通じて避難者へ配布
 - ・ 福島県からの避難者向け地域情報紙「ふくしまの今が分かる新聞」の配布
 - ・ 福島県外避難者向け「2020年ふるさととつながろうツアー」案内チラシの配布
 - ・ 避難者向け情報紙「みんなの手ニュースレター」（04～08）の配布
 - ・ 福島県外避難者向け「9/20開催福島交流会」案内チラシの配布

【環境生活部】

- 県立図書館において、被災地の地元紙「福島民友」「福島民報」を配架

【農林水産部】

- 県内に避難・移住された農業経営者等への営農サポート（通年）

【県土整備部】

- 「鈴鹿青少年の森」の炊飯場利用料金を免除

【教育委員会事務局】

- 被災児童生徒等の小中学校等への転入を支援（通年）
- 被災地域の高等学校等の生徒で、保護者等の転居、親族家族への避難等により本県の県立高等学校等への転入学を希望する者への柔軟な対応（通年）